



北方民族博物館だより

No.133



E170 食事用木皿 サハリンアイヌ 長さ23.7cm x 幅 16.7cm x 高さ 1.8cm
収集地：樺太（サハリン）、1938年収集

食事を盛りつける盆・木皿である。サハリンアイヌ語でニイタ（ni-ta）と記録されている。ホウノキで出来ており、長方形の四隅が切り落とされて曲線となっている。盛り付けのために5mm程度の緩やかな窪みが作られて、左右の取っ手部分に彫刻が施されている。

ロシア・サンクトペテルブルクのロシア人類学・民族学博物館には、サハリン東海岸の白浦（現ヴズモリーエ）、小田寒（現フィルソヴォ）、相浜（現ソヴィエツコエ）などで収集された同様の木皿が所蔵されている。

目次 Contents

- 1 表紙 食事用木皿
- 2 講座「オホーツク人と動物の関係」
／講座「北米先住民の宝物」
- 3 館長講座「人のなまえ・トナカイのなまえ」
／講座「文化人類学における写真—チュコトカの資料より」
- 4 INFORMATION



第39回特別展『アークティック・ステッチ、 北方民族の刺繍』

北方諸民族の衣服や道具類を彩ってきた刺繍をテーマに、
さまざまな刺繍製品とその文様や技術を紹介します。

会期：令和6年(2024年)7月13日(土)～10月20日(日)

会期中の休館日：10月7日(月)、15日(火)

会場：北海道立北方民族博物館特別展示室

観覧料：特別展 一般450円、65歳以上300円、高大生200円、

常設展・特別展のセット 一般800円、65歳以上300円、

大学生320円、高校生200円(7-8月)、高校生320円(9月～)

関連講座

◇講座 世界の刺繍

日時 7月21日(日)10:00-11:30

講師 春日一枝氏 (Bahar代表)

◇講座 ルーマニアの刺繍・工芸

日時 8月4日(日)13:30-15:00

◇講習会 イーラーショシュ

～ルーマニア・トランシルヴァニアの伝統刺繍～

日時 8月5日(月)9:15-12:15

講師 谷崎聖子氏 (伝統刺繍研究家)

◇解説 特別展解説講座

日時 9月8日(日)10:00-11:30

講師 笹倉いる美 (当館学芸主幹)

◇講習会 アイス刺繍「ブックカバー作り」

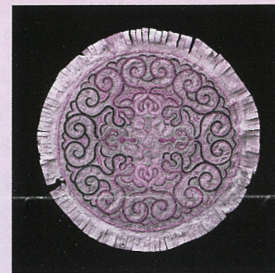
日時 9月13日(金)13:00-16:00

講師 西田香代子氏 (アイヌ文化伝承者)

◇講習会 ウイルタ刺繍

日時 10月6日(日)13:00-16:00

講師 ウイルタ刺繍サークルフレップ会会員



1938年 樺太オタス収集 トナカイ皮刺繍 ウイルタ

INFORMATION

行事報告

◆4月7日(日)企画展「ユーコン・ファーストネーションの伝統的アート様式」の解説会がカナダの先住民アーティストU・ヴァン カンペン氏により開催されました。



ヴァン カンペン講師

◆4月20日(土)～5月19日(日)、斜里町立知床博物館・交流記念館ホールにて移動展「文化財写真-北方民族の文化多様性を伝える」を当館と斜里町立知床博物館の共催で開催しました。また5月11日(土)、同会場にて講座「文化財写真-北方民族の文化多様性を伝えるギャラリートーク」(講師：城野誠治 東京文化財研究所専門職員、笹倉いる美 当館学芸主幹)を行いました。



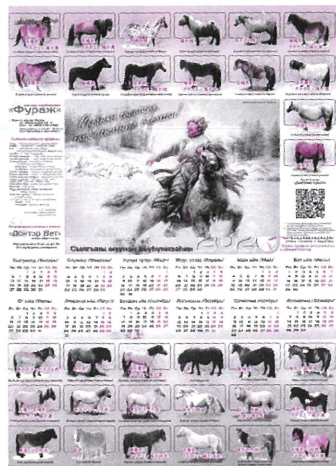
解説する城野講師

◆5月3日(金)～5日(日)GWイベントとして「革のオリジナルキーホルダーづくり」を子どもから大人までを対象に開催しました。



オリジナルのキーホルダー、完成です

◆4月27日(土)～5月19日(日)ロビー展「ノーザンポスター&カレンダー」が開催され、当館に収蔵されている北方民族に関するポスターやカレンダーを展示しました。



展示物のロシア・サハ共和国のカレンダー

◆5月25日(土)、はくぶつかんクラブ「北の文様ボックス」(講師：石原生久 代解説員)を開催しました。



グッジョブ!

職員の異動

[退職] 令和6年(2024年)3月31日

野口 泰弥 (学芸員)

塩谷 舞 (解説員)

[採用] 令和6年(2024年)4月1日

宮川 琢 (臨時学芸員)

北方民族博物館だより

No.133

令和6年(2024年)6月21日発行

編集・発行 北海道立北方民族博物館

〒093-0042 北海道網走市字潮見309-1

Tel 0152-45-3888 Fax 0152-45-3889

e-mail: tonakai@hoppohm.org

http://hoppohm.org

指定管理者

一般財団法人北方文化振興協会